

作家・小池真理子氏の愛猫
右から「ゴブ」「桃」「クロ」



▲館長小池光の愛猫「ハナコ」ちゃん



にゃん 特別展 猫

～猫と人間の物語～

2016年9月10日(土) — 11月6日(日)



大佛次郎記念館提供

『桜子』と猫 1960年頃 撮影:大佛次郎



▲飼い主のいない猫から
家の猫になった「チャ」君

◀仙台市動物管理センター(アニバル仙台)から
一般の家庭に譲渡された「むぎ」

同時開催

岩合光昭 ミニ写真展



(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館
〒981-0902 仙台市青葉区北郷2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
<http://www.sendai-lit.jp>

休館日/月曜日(9月19日・10月10日は開館)、休日の翌日(10月11日は開館)、第4木曜日(9月22日は開館)
開館時間/午前9時—午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料/一般700円、高校生400円、小・中学生200円(10名以上の団体各100円引)

主催/仙台文学館
企画協力/株式会社クレヴィス
協力/仙台市動物管理センター(アニバル仙台)、「大きな青い馬」、「猫専門またたび堂」、佐藤浩康
後援/朝日新聞仙台総局、河北新報社、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、毎日新聞仙台支局、
読売新聞東北総局、共同通信社仙台支社、時事通信社仙台支社、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送
ニッポンテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台

展示関連イベント



I 岩合光昭 <アーティストトーク>

日時：9月27日(火) ①<午前の部>11:00~11:30
②<午後の部>14:00~14:30

講師：岩合光昭(動物写真家)
定員：各回 150人
会場：仙台文学館 2階講習室

※往復はがき1枚につき、1名の申込み。名前、住所、電話番号、イベント名、
①<午前の部>、②<午後の部>どちらを希望かを必ず明記の上、仙台文学館へ。
入場の際には、特別展観覧券の半券が必要です。◎申込締切：9月14日(水) [必着]



II 岩合光昭 <サイン会>

日時：9月27日(火) ①<午前の部>11:45~
②<午後の部>14:45~

定員：各回 200人
会場：仙台文学館 2階講習室

※サインは、仙台文学館の販売コーナーで当日に購入した写真集・書籍(お1人2冊まで)に
限ります。ご購入時、ご希望の方に、①<午前の部>、②<午後の部>の参加整理券を
それぞれ先着200人に配布します。



III 講演会「動物を詠む、猫を詠む」

館長小池光が、多くの歌人が詠んだ動物の短歌や、猫を詠んだ短歌について
様々な面からお話をします。

日時：9月22日(木・祝)13:30~14:30

講師：小池 光(仙台文学館館長)

定員：80人
会場：仙台文学館 2階講習室



IV ワークショップ 「羊毛フェルトでリアルな猫を作ろう!」

日時：11月3日(木・祝)13:30~16:00
講師：もわもわ*びより(羊毛フェルト作家)

定員：10人
会場：仙台文学館 2階講習室

材料費：1,000円

対象：中学生以上



もわもわ*びより制作・猫

※往復はがき1枚につき、1名の申込み。名前、住所、電話番号、イベント名を明記の上、
仙台文学館へ。◎申込締切：Ⅲ 9月13日(火)、Ⅳ 10月4日(火) [必着]

●学芸員による展示解説

日時：10月30日(日)13:30~14:30

※申込み不要、特別展観覧券をお求めの上、仙台文学館 2階講習室へお集まり下さい。

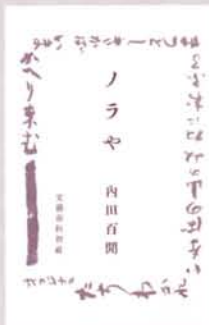
猫は、千年以上前の平安時代から現代に至るまで、人間と深い関わりを持ちながら生きてきました。

平安時代、『源氏物語』『枕草子』『小右記』には高貴な猫が登場します。
江戸時代、戯作者・滝沢馬琴は長寿の黒猫を飼い、浮世絵師・歌川国芳は、猫を懐に入れ、何頭もの猫と一緒に生活していました。

明治時代、夏目漱石や内田百閒ら多くの作家が猫にインスピレーションを得、癒しやなぐさめを与えられてきました。

空前の猫ブームと言われる現代社会において、猫と人間はどのような関係にあるのでしょうか。家族の一員として生きる猫がいる一方、飼い主のいない多くの猫がいのちを落としているのも事実です。

作家・写真家・愛猫家・行政獣医師といった様々な職業の人と猫との関係、そして、その中から生まれた作品をとらえて、人間のあり方をかえりみるきっかけにしてください。



内田百閒著「ノラヤ」(1957年12月文藝春秋新社)
中扉[左]、扉絵[夏目漱石筆 鉛筆画 明治末年頃/写生][右]



岩合光昭(動物写真家) © Iwago photographic office

あなたの撮影した愛猫と、エピソードを募集します!

愛猫の写真と、【住所/氏名(ペンネーム)/電話番号/猫の名前/猫の年齢(月齢)/
写真のエピソード(200字以内)]を明記した用紙を同封し、仙台文学館まで郵送ください。

応募締切：9月1日(木) [必着]

◎写真の裏にも、【住所/氏名(ペンネーム)/電話番号/猫の名前】
を明記してください。

◎写真は、ご自身で撮影したオリジナルな写真に限ります。

◎写真は、L判(89×127mm)縦横は自由に限ります。

◎エピソードは、オリジナルのものに限ります。

◎お送りいただいた写真及び原稿は、返却いたしません。

◎写真及びエピソードが、HP・facebook・twitterなどSNS類、チラシ、新聞、テレビなど広報のために必要な媒体にて、使用されることをあらかじめご了承ください。

◎応募された写真及びエピソードは、(公財)仙台市市民文化事業団設立30周年記念事業「オリジナルミュージカル 仙台ねこ」の脚本の原案となる可能性もございます。翻案されることを了承した上で、ご応募ください。

◎写真及びエピソードが脚本の原案となった場合の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は、(公財)仙台市市民文化事業団に帰属します。

◎採用された写真及びエピソードは、「オリジナルミュージカル 仙台ねこ」の開催に合わせて、日立システムズホール仙台(青年文化センター)に展示されることがあります。

企画展示室に
かざられるにゃ



※いただいた個人情報は、上記のイベントのご連絡以外には使用しません。

交通のご案内

バス利用の場合

○宮城交通バス
仙台駅西口バスプール2~4、6番乗り場から出る仙台北・泉地区方面に向かうバス(急行・北山トンネル経由を除く)

○市営バス
仙台駅西口バスプール6番乗り場・八乙女駅行

◀いずれも「北根二丁目・文学館前」下車、徒歩5分▶

地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車

・徒歩30分、または、タクシー5分

※台原森林公園内「あかまつの道」経由。当館敷地内の遊歩道は、山道で高低差も多く、雨天時など足元が大変悪くなります。雨天時のご来館の際は、バスの利用をお勧めいたします。

駐車場 40台(無料)

満車の場合、近隣に駐車場はございませんので、なるべくバスをご利用ください。



(公財)仙台市市民文化事業団 〒981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
http://www.sendai-lit.jp

仙台文学館 ~次回展覧会~
企画展「井上ひさし資料特集展 vol.6」
2016年12月3日(土)~2017年4月9日(日)

※再生紙を使用しています。このチラシはリサイクルできます。「雑がみ」として分別してください。